

開成の杜

第107号 ●2018年10月4日 ●郡山女子大学大学院 ●郡山女子大学 ●郡山女子大学短期大学部 ●郡山女子大学附属高等学校 ●郡山女子大学附属幼稚園

●発行所／学校法人郡山開成学園 〒963-8503 郡山市開成3丁目25番2号 ☎ 024(932)4848(代) http://www.koriyama-kgc.ac.jp ●発行人／学園長 関口 修



うねめまつりを盛り上げた附属高校マーチングバンド部

(撮影 山口郁生)



理事長・学園長
関口 修

常識とハラスメント

この頃、新聞やテレビで
屢々ハラスメントという言葉
が使われます。

現代語の解説書と言われて
いる広辞苑第7版でハラスメ
ントの語彙について調べてみ
ると「人を悩ますこと、地位
や立場を利用したいやがら
せ」と記されていました。因
みに、古い広辞苑では何時頃
から掲載なのかと調べたとこ
ろ、年代は2008年1月発
刊の第6版が最初でした。従
って、ハラスメントという言
葉が一般的に使われるようにな
ったのは21世紀になってか
らなのでしょう。

巷に溢れているハラスメン
トには、沢山の種類があるそ
うで、セクハラ・パワハラ・
モラハラなど、インターネッ
トによると十数種類のハラス
メントがありました。

個人の意思を齟齬なく他人
に伝えるには、教養を土台と
した多面的な思索、豊かな感
性が肝要と考えます。

SNSなどメール機能が煩
雑化し、沢山の略語や新言語
が溢れている現状は、好むと
好まざるにかかわらずハラス
メントを惹起する要因となる
のではないのでしょうか。

著名な評論家が有名人の言
論に悪意ある論評を加える行
為や、週刊誌の見出しにはハ
ラスメント的用語が踊りま

す。これらを見聞きする子ど
も達には格好の虐めの手本に
なっているのではないかと心
配です。

日本人は千年もの昔から常
識という言葉を使っていま
す。常識を広辞苑で調べたら
「普通、一般人が持ち、また
持っているべき、標準知力、
専門的知識でない一般的知識
とともに理解力・判断力・思
慮分別などを含む」とありま
した。

人々は他人を特定する手段
として職種で選別するのが普
通です。芸術家・教育者・僧
侶等々と特定しますが、其処
には他者への尊敬の気持ちが
込められていると思います。

しかし、ハラスメントとい
う概念が是認され、使われだ
した現代では、私達の常識の
意味が大きく変化させられて
いるように思います。

理解力・判断力や思慮分別
もなく、自分の欲望や願いに
固執し、周囲に責任を転嫁
し、誹謗中傷する人間が増え
ているのではないのでしょうか。

個人の人権は尊重されなけ
ればなりません。多様で特
色ある人々の集合体である社
会であればこそ、人間の尊厳
は守られなければなりません。

ハラスメントという言葉は
筆者なりに解釈してみると、
事柄の軽重を問わず、一旦使
った言葉は「覆水盆に返ら
ず」の例えが在るほど厳しさ
があると思います。それ故
に、尊敬・責任・自由の建学
の精神を自覚し、個の確立を
図り、他者の存在に価値を見
出したいものです。

古殿町と 包括連携協定締結

本学園(関口修理理事長)と古殿町(岡部光徳町長)は8月27日、地域発展と人材育成を目指した包括連携協定を結んだ。

本学と県内の市町村が協定を結ぶのは本宮市、小野町、葛尾村に次いで4例目。地域創生、健康栄養・福祉増進、子育ての環境向上、地域産業の振興、芸術文化向上、人材育成・確保等の各項目で連携する。

協定締結式は町役場で行われ、関口理事長と岡部光徳町長が協定書

に署名した。関口理事長は「研究の成果を地域社会に還元するのが大学の使命、町と協力し発展に寄与したい」、岡部町長は「さまざまな課題解決に取り組みたい、まちづくりの一助になつていただきたい」と述べた。

協定式には影山彌大副学長、斎藤美保子短大副学長、降矢正一事務局長も出席した。



協定書を交わした関係者

第54回学園教育充実研究会

これからの教職協働を考える 魅力ある学園を目指して

第54回学園教育充実研究会(大・短大・事務局職員)が8月28日、本学園建学記念講堂を主会場に開催された。今年度のテーマは「これからの教職協働を考える」魅力ある学園を目指して」とした。本年度は、教職員が協力して魅力ある学園を目指すことを目的とし、FD部門とSD部門の協働による開催となった。



地域連携と本学の社会還元現況について発表する 阿部真澄さん

大会当日、前半は学園内における教職協働および地域連携等の事例発表を実施した。発表内容は、附属高等学校長の佐々木貞子先生より「附属高等学校の生徒募集について」、管財部地域連携室の阿部真澄氏より



佐々木校長は「附属高等学校の生徒募集について」

後半は「今より100人受験生を増やすために何が出来るか、何をすべきか?」について「教育」「学生支援」「学生募集」「施設」「地域貢献」「行事」の六つの領域に分かれ、ワークショップを行いその成果を発表した。教職員



大学ブランディングと地域連携 小松太志准教授

が職位・職階を横断した18のグループに分かれ意見交換を行い、多様な意見に触れることで現状の課題と今後の方策を再発見する機会となった。グループディスカッションの後、その成果を模造紙にまとめ、発表するというポスターセッションを行った。ポスター作成においては、「多様な意見を一つのテーマにまとめることに難しさを感じた」などの声が聞かれた。ポスター作成後、全グループが建学記念講堂展示ロビーに集い、18グループのポスターが一堂に揃い、各々の意見を披露し合った。このセッションにおいては、各自2点選んで投票するという試みがなされた。会場では、熱心な意見交換をする様子、どのグループに投票するかを真剣に悩む教職員の姿が見られた。

閉会式においては、投票の結果選出された上位3グループの表彰が行

附属高校 学校見学会開催

附属高校の平成30年度「第1回学校見学会」が、7月29日に開催され、郡山市内はもとより県内外各中学校から中学生、教員、保護者合わせて約600名が本校を訪れた。

全体会は建学記念講堂大ホールにおいて、放送部員の今村友里、伊東玲奈による楽しい司会進行で進められた。最初に佐々木貞子校長より歓迎の言葉があり、その後、酒井和泉生徒会長の歓迎挨拶があり、引き続き本校生徒代表(普通科・中倉里桜音楽科・渡邊彩華、美術科・小林瑠菜、食物科・阪谷うる)による動

画とパワーポイントを用いての各学科の説明が、高校生活の実体験を踏まえ、親しみやすい内容で行われた。休憩を挟んだ後は、まず最初に高校の全部活動が参加した紹介動画を放映した。バレーボールをリリースする形の動画で、最後にはそのバレーボールが会場の生徒会長のもとに渡り、その回りに各部の代表が集まって中学生に挨拶をするという形で終わった。その後は恒例の部活動の演技・演奏披露となり、合唱部・新体操部・マーチングバンドが参加し、幕を降ろした。



全体会の様子

9月22日には、第2回の学校見学会が行われ、この日には午後には各学科・部活動体験も行われた。



「高等教育における学生募集の現況」について発表する 関口次長

われた。上位3グループは、1位が「行事」のQグループ「女子大ハンパないって!! 行事の集客率を上げて今より100人受験生を増やす!!」、2位が「施設」のKグループ「魅力ある施設づくり パワースポット Junji ya Cafe 複合型施設の提案」、3位が「地域貢献」のOグループ「コミュニティヒーロー 郡山女子大学ーカレッジ・カフェでヒーローー」であった。いずれも、各領域において「今より100人受験生を増やすため」の提案が書かれた、魅力的なポスターであった。

最後に上位3グループによるプレゼンを行い、学園長先生から全体の講評をいただき、本年度の学園教育充実研究会の幕を閉じた。教職員が協働して魅力ある学園を目指し、課題を見つけ方策を協議しその成果を発表した、実りのある一日となった。

グローバル・レディ 育成研修に参加して 専攻科文化専攻2年 真船文香

日本出発直前に、約30年ぶりにハワイに接近したハリケーンの影響で予定便が欠航、急遽別便へ変更というアクシデントがありました。ホストファミリーとの対面から始まった研修は、私のように自信が持てずあまり英語が話せない人もいて、ジェスチャーや辞書などを使い会話を

同窓会開催のお知らせ

平成30年度それぞれの定期総会が左記日程で開催されますので、お知らせします。

○大学同窓会
10月13日(土) 10:30~14:00
開成いすず会館にて

○短大同窓会
10月7日(日) 10:30~14:00
開成いすず会館にて

○附属高校同窓会
10月6日(土) 13:30~ 附属高校内



ハワイ大学マウイコミュニティカレッジにて

2019年度入学者選抜日程

●募集人員

【大学院】

本大学院は、本大学家政学部人間生活学科及び食物栄養学科を基礎に、人間生活学研究科人間生活学専攻の修士課程(2年)、さらに博士(後期)課程(3年)を設けている。

○人間生活学研究科

修士課程10名(含昼夜開講制)

博士(後期)課程3名

【大学】

家政学部人間生活学科40名

(生活総合コース10名・建築デザインコース10名・福祉コース20名)

家政学部食物栄養学科80名

【大学3年次編入】
本大学では、両学科とも3年次への編入を認めている。募集人員は両学科とも各10名。

短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程を卒業、修了または見込みが条件であるが、同等以上の学力があると認められた者も出願できる。

【短期大学部】

健康栄養学科……………70名

幼児教育学科……………125名

チャイルド・ミュージックコース……………15名程度

地域創成学科……………80名

【専攻科文化学専攻】

短期大学の専門教育の基礎の上に、より専門的知識を体系的に学んで総合的な判断力・豊かな人間性を培う。大学評価・学位授与機構の審査をパスすると「文学士」の学位を得ることが出来る。

●選抜方法

推薦生(特待生/指定校/公募/専門・総合学科)

社会人・特別(社会人/高等専門)

留學生/帰国子女

高大連携生(本附属高校生)

AO生(自己推薦)

一般生(入試センター試験併用可)

●選抜日程(別項参照)

●AO生選抜日程 I期・II期募集終了。

III期は短大のみ実施いたします。

2019年度入学者選抜日程

学部	選抜方法		出願期間		選抜日	可否通知発送日	入学手続き締切日	
	専願	併願	専願	併願				
大 学	指定校推薦生	専願	10月12日(金)~10月23日(火)		11月3日(土)	11月13日(火)	11月27日(火)	
	公募推薦生	I期	専願	10月12日(金)~10月23日(火)		11月3日(土)	11月13日(火)	11月27日(火)
		II期	専願	11月16日(金)~11月27日(火)		12月8日(土)	12月18日(火)	1月4日(金)
	専門学科・総合学科推薦生	I期	専願	10月12日(金)~10月23日(火)		11月3日(土)	11月13日(火)	11月27日(火)
		II期	専願	11月16日(金)~11月27日(火)		12月8日(土)	12月18日(火)	1月4日(金)
	特待生	専願	10月12日(金)~10月23日(火)		11月3日(土)	11月13日(火)	11月27日(火)	
	高大連携生	専願	10月12日(金)~10月23日(火)		11月2日(金)	11月13日(火)	11月27日(火)	
	社会人・特別	I期	専願	10月12日(金)~10月23日(火)		11月3日(土)	11月13日(火)	11月27日(火)
		II期	専願	11月16日(金)~11月27日(火)		12月8日(土)	12月18日(火)	1月4日(金)
	一般生 <small>大学入試センター試験結果利用含む</small>	I期	併願可	1月11日(金)~1月22日(火)		2月2日(土)	2月13日(水)	【第1回】2月22日(金) / 【第2回】3月15日(金)
II期		併願可	2月1日(金)~2月12日(火)		2月22日(金)	3月5日(火)	3月15日(金)	
III期		併願可	2月22日(金)~3月10日(日)		3月16日(土)	3月22日(金)	3月27日(水)	
短 期 大 学 部	指定校推薦生	専願	10月12日(金)~10月23日(火)		11月3日(土)	11月13日(火)	11月27日(火)	
	公募推薦生	I期	専願	10月12日(金)~10月23日(火)		11月3日(土)	11月13日(火)	11月27日(火)
		II期	専願	11月16日(金)~11月27日(火)		12月8日(土)	12月18日(火)	1月4日(金)
	専門学科・総合学科推薦生	I期	専願	10月12日(金)~10月23日(火)		11月3日(土)	11月13日(火)	11月27日(火)
		II期	専願	11月16日(金)~11月27日(火)		12月8日(土)	12月18日(火)	1月4日(金)
	特待生	専願	10月12日(金)~10月23日(火)		11月3日(土)	11月13日(火)	11月27日(火)	
	高大連携生	専願	10月12日(金)~10月23日(火)		11月2日(金)	11月13日(火)	11月27日(火)	
	社会人・特別	I期	専願	10月12日(金)~10月23日(火)		11月3日(土)	11月13日(火)	11月27日(火)
		II期	専願	11月16日(金)~11月27日(火)		12月8日(土)	12月18日(火)	1月4日(金)
	一般生 <small>大学入試センター試験結果利用含む</small>	I期	併願可	1月11日(金)~1月22日(火)		2月2日(土)	2月13日(水)	【第1回】2月22日(金) / 【第2回】3月15日(金)
II期		併願可	2月1日(金)~2月12日(火)		2月22日(金)	3月5日(火)	3月15日(金)	

2019年度入学者選考に関する日程 附属高等学校

【附属高等学校】普通科…90名 / 音楽科…15名 / 美術科…20名 / 食物科…35名
■2019年度入学者選考に関する日程一覧

	推 薦 生		特 待 生	一 般 生
	専 願	併 願		
出願期間	2019年1月8日(火) 9:00~16:00 1月9日(水) 9:00~12:00 【郵送の場合、1月9日(水)必着】			
選考日	2019年1月23日(水)		2019年1月23日(水) 1月24日(木) <small>※部活動特待生は23日のみ</small>	2019年1月24日(木)
合格発表日	2019年1月29日(火) 12:00			
入学手続き期間	専願推薦生 2019年1月30日(水)~2月4日(月) 併願推薦生 【第1次】2019年1月30日(水)~2月4日(月) 【第2次】2019年1月30日(水)~3月15日(金)		2019年1月30日(水)~2月4日(月)	【第1次】2019年1月30日(水)~2月4日(月) 【第2次】2019年1月30日(水)~3月15日(金)

就職部より

今年も売り手市場や労働力不足を背景に、求人数も多く学生にとっては好環境であるが、就職を取り巻く環境は目まぐるしく変化している。今年の就職内定状況も良好で、9月以降は就職内定者数の対策を実施して、卒業時には全員就職を目指している。

昨年度から単位化したキャリアアデザインIIのインターシップも、9月4日に報告会を終えた。8月上旬~下旬の5日間、各自目的を持ち、猛暑の中就業体験を行なった。社会人としてコミュニケーションやマナーの大切さを肌で感じ、相手の立場に立つて考える力、自分の意思を伝える等、自分に不足しているものを認識した大学2年生、短大1年生の成長がみられた。

瞬間である。受け入れた各企業の方々も学生のためにプログラムを組み、行き届いた配慮には大変感銘を受けた。また、短大卒で管理栄養士を取得し、マネージャーとして活躍している卒業生が後輩の指導にあたり、充実したライフプランを語る姿は、とても清々しく頼もしく感じられる場面もあった。

9月3日に、経団連会長が就活ルール廃止に言及し、現在の採用指針は現在の大学3年生まで該当するが、2020年就活活動を行う現在の大学2年生からは、これまでのスケジュールが早まる可能性があり、新しいルールが今秋に公表される。就職部では、就職活動支援のために9月と2月にはキャリアアップセミナーを実施する。この機会を活用して、自分のキャリアの軸を見つけて、これからの変化の激しい(AI技術の発達・人口減少・少子高齢化・グローバル化等)、予測できない社会に自ら学び変化し続ける力を身に付け、ライフステージの変化に合わせた働き方や自ら選択できる力を養ってほしい。

附属幼稚園同窓会が開かれました

今年も7月の最後の日に附属幼稚園を卒業したお子さん達112人が集まってくれた同窓会。今年も酷暑の中での開催でしたが、幸い当日は晴れたものの比較的暑さもひどくなく、室内遊びや外でのサッカー遊びやロープワークでの遊びを楽しむ事が出来ました。今年も少し趣向を変えてスライム作りや三角クジなども楽しみました。そんな会話も少しづつ大人びていく様で、私たちもお子さんの成長を楽しませてもらいました。



久しぶりの再会



10月1日から
願書受付開始
附属幼稚園

10月1日(月)より平成31年度の入園願書受付を開始いたします。今年度も2・満3歳児クラスから年長組まで募集しております。おかげさまで2・満3歳児クラス及び年少組に關しましては、園児数の関係で年度途中からの入園について場合によってはお引き受け出来ない場合もございます。ご希望の方はお早めにお問い合わせいただけると幸いです。

たくさん遊んで、たくさん考える。幼児期に必要な創造的な思考力を育てます。

どうぞよろしく願っています。

特集 私たちの学園

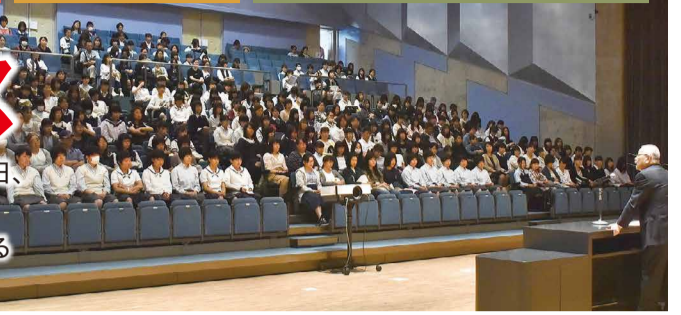
平成30年度 オープンキャンパス

郡山女子大学大学院

郡山女子大学

郡山女子大学短期大学部

進学を希望する高校生と保護者、高校教員を対象とする平成30年度オープンキャンパスが6月17日、7月8日、8月5日、9月2日に開催された。10月6日・7日にもミニオープンキャンパスが予定されている。模擬授業に出席し、施設を見学して志望学科の先生方や在学生のメープルレディと語り合ったりできる唯一の機会。東北各県や新潟、富山などからも参加した。各科が実施した模様を紹介する。



●短大／健康栄養学科
「寒天を使ってヘルシーデザートを作ろう」
ヘルシーデザート作りを体験



様々な調理機器について学んだ

●大学／食物栄養学科
「給食施設で使用されている調理機器について」
給食施設では、多数の利用者の食事を、決められた時間までに、衛生的に調理している。そのために、様々な調理機器が使用されている。今回は、給食施設で使用されている調理機器を紹介した。



車イスを体験

●大学／人間生活学科
生活総合コース…天然染料で絹布を絞りに染め体験、界面活性剤の不思議体験
福祉コース…広く福祉を支えるソーシャルワーカーについて
建築デザインコース…空間をデザインしてみませんか、建築CAD体験



地域のニーズをとらえて学科・専攻を再編

●短大／地域創成学科
地域のニーズをとらえて学科・専攻を再編。想像力や表現力、コミュニケーション能力を伸ばし、地域の発展に取組む力を身につける。
印刷表現による視覚伝達。世の中には印刷された物が溢れている。書籍やポスター、様々なパッケージにも印刷されている。そんな印刷の原点は何か、どう発展したかを学んだ。



チャイルドミュージックコース
2019年度新設

寒天スイーツは、食物繊維やミネラルが豊富でヘルシーなデザート。今回は「フルーツポンポン」ゼリーを楽しく作った。また、ゲル化剤の種類に合ったレシピを紹介した。
●短大／幼児教育学科
幼児教育コース…全てのオープンキャンパス日程で共通の体験授業を実施。歌・リズムあそび、造形あそび、子どものころ、自然あそび・子どもの発達チャイルド・ミュージックコース…音楽に関する専門的な知識や技術を学び、より豊かな音楽表現力を養い、音楽の美しさや楽しさを伝えることができる保育者を目指す。

●新体操部
3月に地元福島県で開催された全国高等学校選抜大会の出場を経験し、同メンバーで今回の全国インターハイに出場してまいりました。4月に入部した2名の心強いサポート役を加え、部員7名で今年度の団体演技新作を確実なものに上げるために、ノーマスを「目指して！目指して！ひとすらい目指して！」猛練習を重ね、5月の県高校大会では8年連続17度目の団体優勝を成し遂げ、先輩たちが築いてきた連続優勝の感激を胸に、翔べ、誰よりも高く、東海の空へ、のスローガンのもと開催された静岡インターハイ本番では、憧れの高校新体操日本一を決める全国の舞台に立つことができた喜びを心から噛みしめてまいりました。メンバーの団結力がこれまで以上に深まり、一人ひとりが練習で積み上げてきた高度な連携技や呼吸を合わせたの同時性を発揮し、芸術性の高い優雅でしなやかな連続性のある動きを最大限に表現して、堂々と演技することができました。
壮行会や演技会そして応援メッセージ旗など、皆さまのご声援に心から感謝いたします。ありがとうございました。

◆新体操部
▽女子団体 42位 9・050点
監督 平間法子
選手 金澤萌桃 中倉桜都 矢代優月 二瓶萌椰 五十嵐由
◇ハンドボール
2年連続優勝した佼成学園女子(東京)に惜敗した。
▽2回戦
郡山女子大附属19-26佼成学園女子
監督 富本栄次 コーチ 水沢成宏 マネージャー 萩谷帆乃香
選手 江井利奈 後藤綾香 塩沢珠里 吉成萌 今泉咲樹 佐藤千夏 阿久津乃愛 田母神怜奈 中畑心里 上野沙耶 鹿子田楓花 西牧彩奈 岩谷香澄

全国大会に揃って出場
新体操部・ハンドボール部
高校生のスポーツの祭典、全国高校総体(インターハイ)「2018彩る感動東海総体」が「翔べ誰よりも高く東海(空へ)」を大会スローガンに、東海地方4県(三重、岐阜、静岡、愛知)と和歌山県を舞台に熱き戦いが繰り広げられた。本校から新体操部8年連続17回目、ハンドボール部が4年連続出場した。



強豪に善戦 ハンドボール部

●ハンドボール部
私たちハンドボール部は7月26日から三重県四日市市において行われた第69回全日本高等学校ハンドボール選手権大会に出場しました。初戦の相手は、東京都代表の佼成学園女子高等学校との対戦になりました。



「完璧な技」を目標に演技した新体操部

昨年年度の優勝校、そして今年でも優勝した強豪ではありませんが、私たちは決して諦めることなく全員が一丸となり戦うことができました。7点差で負けてしまいましたが、最後まで諦めずに笑顔で戦うことができ、これまでで最高の試合をすることができました。この貴重な経験を活かし、来年は全国ベスト8以上を達成してほしいと思います。



「明るいバンド、強いバンド、人間味あふれるバンド」

●マーチングバンド部
『感謝』の気持ちを込めて
私たちは、「明るいバンド、強いバンド、人間性あふれるバンド」をモットーに、日頃から全てのこと、支えて下さる方に感謝の気持ちを込め、日々の練習に励んでいます。今年度は、地域の催事に参加させていただく機会が多く、貴重な経験をさせていただきました。私たち自身成長することができました。また大会では『ODYSSEY』The BOND・Let's get (re)started』をテーマに、大会に臨みます。生活していく中でも、絆があるからこそ乗り越えられる壁があり、絆があるからこそ挑戦し、新しいスタートを切ることができると思っています。このテーマを表現できるように、私たちらしい演奏演技をし、応援して下さい。地域の方、保護者、卒業生、学園関係者に恩返しができるように、精一杯頑張りたいと思います。

昨年年度の優勝校、そして今年でも優勝した強豪ではありませんが、私たちは決して諦めることなく全員が一丸となり戦うことができました。7点差で負けてしまいましたが、最後まで諦めずに笑顔で戦うことができ、これまでで最高の試合をすることができました。この貴重な経験を活かし、来年は全国ベスト8以上を達成してほしいと思います。

卓球部

▽東北大会出場

国分陽奈 高橋海里 伊藤笑

第73回国民体育大会

福井しあわせ元気国体が9月29日〜10月9日まで開かれる。

附属高校新体操部を中心とした福島県選抜チームが出場し、左記の成績をおさめ、福井国体出場が決まった。

▽新体操少年女子の部

団体3位 福島県チーム

▽個人

フープ 3位 二瓶萌椰

クラブ 3位 金澤萌桃

リボン 4位 中倉桜都

東北総体ボウリング

▽成年女子 個人

3位 大河内未来(大食・4年)

▽成年女子 団体

〈2人〉2位 福島A

朝倉美季・大河内未来

〈4人〉1位

新人戦 県南地区大会

▽陸上競技部

円盤投げ 2位 堀田美紅

やり投げ 7位 星 凜

砲丸投げ 6位 今井千愛

5位 堀田美紅

6位 今井千愛

7位 有賀未桜

8位 今井千愛

ハンマー投げ 6位 今井千愛

200m 6位 今井千愛

4×100m 8位 片寄紗紀

※以上県大会出場

▽テニス部

団体 3位

個人 安部里奈

※県大会出場

県総体剣道県南大会

▽女子団体 優勝 郡山女子大附属

▽個人 2位 佐々木由翔

7位 小林恭子

第72回福島県総合美術展

【洋画の部】

▽入選

國安 碧(短大・地域創成1年)

柳沼詩織(短大・地域創成1年)

實吉愛湖(短大・生芸2年)

【日本画の部】

▽佳作賞

高椋舞花(短大・地域創成1年)

【彫刻・工芸の部】

▽県美術奨励賞・福島放送社長賞

須賀愛良(平成29年卒)

第64回県水彩展

▽風土舎賞

永山美智佳(短大・地域創成1年)

第72回県合唱コンクール

▽高校部門 銀賞

第44回校内合唱コンクール

3年1組が学校長賞

附属高校の校内合唱コンクールは、6月27日、建学記念講堂で11クラス、約400人が参加して行われ、課題曲の校歌と自由曲を披露した。生徒たちは美しいハーモニーを響かせ、日頃の練習の成果を発揮した。成績は次の通り。

▽学校長賞 3年1組

▽金賞 3年食物

▽優良賞 1年2組・2年3組・3年2組

第24回県ジュニアピアノコンクール上級部門第3位

南相馬市で8月26日に開かれ、附属高校音楽科2年、大竹玖美さんが3位に入賞した。

CAFE LUKKE外観デザイン&新ロゴマーク決まる

實吉さんがグランプリ

ゼビオグループ国土観光(大滝秀雄社長)が猪苗代で営業する「CAFE LUKKE」(カフェ・ルク)の外観やロゴを募集した「外観デザイン&新ロゴマークコンペティション」のロゴ部門で、實吉愛湖さん(短大・生芸2年)の作品が最高賞のグランプリに輝いた。誘客の強化を図るために作品を募集したもので、19点の応募があり、関係者の審査で選ばれた。「CAFE LUKKE」では、グランプリ作品のデザインを基に改修を行った。

▽新ロゴマーク 入選

佐藤唯花(短大・生芸2年)

大和田実来(短大・生芸2年)

西日本豪雨義捐金を届ける

8月7日、郡山女子大学学友会の阿部優子会長(食物3年)と、短期大学部学友会の高野尾嶺会計(健康栄養2年)が12万円、附属高校生徒会の酒井和泉会長が30,814円を「被災者支援に役立ててほしい」と福島民報社郡山本社に届けた。



義捐金を届けた皆さん

田村市観光クルーに吉田華澄さん

吉田華澄さん(短大・幼教1年)が、田村市観光クルーに選ばれた。吉田さんは2年間、田村市内外のイベントやキャンペーンに参加し、田村市の観光資源や特産物を広くPRする。



田村市観光クルー 吉田華澄さん

部活を応援! JA福島さくら女性部

本学園と包括連携協定を結んでいるJA福島さくららの宗形義久郡山地区本部長や女性部の薄井洋子さんら7人が、附属高校の部活動を応援しようと6月21日、バレーボール部やマージングバンド部などの生徒約250人に郡山産「あさか舞」を使用したカレーライスやスイカなどを振舞った。生徒は「美味しい」と笑顔で完食した。



メンバーと話しながらカレーを味わう生徒

短大・地域創成学科 デッサン講習会を開催

高校生を対象とした、デッサン講習会が7月20日から3日間、芸術館絵画I室で50人が参加して行われた。講習内容は鉛筆デッサン「静物」で、この講習会で制作した作品は、平成31年度郡山女子大学短期大学部地域創成学科入学者選抜試験の「基礎能力調査(推薦生、社会人・特別生)」に代えることができる。あつて、参加者は熱心に講習を受けていた。

生徒が成果を披露

附属高校音楽科・合唱部の第47回定期演奏会が7月14日、建学記念講堂で開かれ、生徒たちが練習の成果を発表した。附属高校の音楽科と合唱部の生徒やOGなどが出演。合唱部は「麦わら帽子」、「やつてみよう」などを歌い上げた。音楽科は選ばれた生徒がピアノ独奏、ソプラノの独唱、オーボエ独奏などを披露した。

屋上菜園 復活

梅雨の合間に青空がぞいた6月22日、原発事故以後、除染のため休園していた屋上菜園が復活した。屋上菜園は2006年4月、学園創立60周年記念事業の一環として屋上を活用し開園。これまで野菜などを栽培、調理実習などで活用してきたほか、サツマイモの葉を利用し、夏場の教室の

福島民友新聞の一面「編集日記」

7月1日付に故関口富左名譽学長の功績が掲載されたので紹介します。

郡山女子大学などを運営する郡山開成学園を創設し、県内で女性の高等教育の先駆者といわれた故関口富左さん。関口さんは同大屋上菜園の設置に「自然を凝視(みつめ)て新たな学を」との方針を掲げた。▼食育実践の場として校舎屋上を活用し、2006年に開園した屋上菜園。育てた野菜を調理実習に使うとともに、生ごみを堆肥として有効活用した。屋上緑化は夏の教室の暑さ対策にもつながるなど環境教育のシボル的存在だった。▼しかし、東京電力福島第一原発事故に伴う除染の



8年ぶりに復活した屋上菜園

温度低下などを進めてきた。復活した屋上菜園は2ヶ所で150平方メートル。22日には短期大学部幼児教育学科2年の30人が、学園と包括連携協定を結ぶJA福島さくららの協力です、ピーマンやカボチャなど約10種類の苗を丁寧に植えた。収穫された食材は9月学校直営となる学生食堂で利用する方針で学生たちは楽しみにしていた。

ため11年に菜園の土は全て取り除かれ、栽培は休止に追い込まれた。13年に99歳で生涯を閉じた関口さん。休止はさぞかし悔しかっただろう。▼菜園は6月、新たな土が入れられ8年ぶりの栽培が再開した。野菜の一部は、9月から学園直営となる学生食堂で食材として生かされる。食堂の利用は学生と教職員に限られているが、運営が軌道に乗れば一般開放も検討するといふ。▼原発事故の避難指示が解除された地域では稲作や畑作の再開が加速している。まずは、その食物を地域でどう生かすか考えたい。地元で消費を拡大することが県産農産物の安全性をアピールすることにつながるはずだ。※福島民友新聞社の承諾を得て掲載しました。

学校 法人 郡山開成学園

平成29年度 事業報告

一、法人の概要

(1) 建学の精神
本学園は、建学の精神「尊敬」「責任」「自由」を教育目標としている。

それは、お互いの個性を尊重し、敬愛できる豊かな人柄を創り他者においてそれを認めること、そして、人間として存在するためには、責任ある行動で社会への自覚を持つこと。つまり、個性を重視し、互いに理解する「個の確立」と「他との協調」をもつて、自主・自立できる女性としての人間育成を図るのが目的である。

(2) 学校法人の沿革
○法人名 学校法人郡山開成学園(創立昭和22年4月22日)
○所在地 福島県郡山市開成三丁目25番2号

○代表者 理事長 関口修
○設置学校名
郡山女子大学大学院

開設・修士課程平成4年4月
博士課程平成8年4月
郡山女子大学
開設・昭和41年4月

郡山女子大学短期大学部
開設・昭和25年4月
郡山女子大学附属高等学校
開設・昭和32年4月

郡山女子大学附属幼稚園
開設・昭和30年4月
○学校長名
郡山女子大学

学長 関口修
郡山女子大学短期大学部
学長 関口修

郡山女子大学附属高等学校
校長 佐々木 貞子
郡山女子大学附属幼稚園
園長 賀門 康博

(3) 学校・学部・学科等の入学定員・学生数の状況(平成29年5月1日現在)
在籍総数 1,314名
前年度比73名増

○在籍数一覧 表①参照
(4) 役員・教職員
理事10人・監事2人・評議員21人

二、事業の概要(当該年度)

本学の建学の精神である「尊敬・責任・自由」と学園の基本方針である「品位高尚」「秩序儉約」「創造自立」をもとに、それぞれの学科・部署において計画した教育・運営に関する事項を実施した。

※教育等実施内容
各部署毎に年度当初に立てた計画に基づき、計画(Plan)、実施(Do)、評価(Check)、改善(Act)のPDCAサイクルに従い、教育活動並びに事務活動を行った。

※平成29年度入学者・入園児数
大学院4名・大学78名・3年編入

表① 院生・学生・生徒・園児在籍総数(1,314名:前年度比73名増)学則等収容定員(2,509名) 単位:名

Table with 4 main sections: 大学院, 郡山女子大学, 附属高等学校, 附属幼稚園. Each section has columns for course names, enrollment numbers, and capacity.

表② 教職員298名【教育職員236名 事務職員62名】

Table with 4 columns: 学校別, 教員数, 職員数, 非常勤講師, 合計. Lists staff counts for various school divisions.

☆福島学習センター出向職員 5名 ☆時間雇用職員 6名

大学3年次編入I・II・III期選抜実施
大運動会
平成30年度入学式・短大「特待生」指定校生・公募推薦生I・II期・特別生I・II期「選抜実施」
平成30年度入学短大「専攻科I期」選抜実施
平成30年度入学大学・短大「一般生I・II期」選抜実施
大学院第23回「入学式」
大学院第24回「入学式」
大学院第25回「入学式」
大学院第26回「入学式」
大学院第27回「入学式」
大学院第28回「入学式」
大学院第29回「入学式」
大学院第30回「入学式」
大学院第31回「入学式」
大学院第32回「入学式」
大学院第33回「入学式」
大学院第34回「入学式」
大学院第35回「入学式」
大学院第36回「入学式」
大学院第37回「入学式」
大学院第38回「入学式」
大学院第39回「入学式」
大学院第40回「入学式」
大学院第41回「入学式」
大学院第42回「入学式」
大学院第43回「入学式」
大学院第44回「入学式」
大学院第45回「入学式」
大学院第46回「入学式」
大学院第47回「入学式」
大学院第48回「入学式」
大学院第49回「入学式」
大学院第50回「入学式」
大学院第51回「入学式」
大学院第52回「入学式」
大学院第53回「入学式」
大学院第54回「入学式」
大学院第55回「入学式」
大学院第56回「入学式」
大学院第57回「入学式」
大学院第58回「入学式」
大学院第59回「入学式」
大学院第60回「入学式」
大学院第61回「入学式」
大学院第62回「入学式」
大学院第63回「入学式」
大学院第64回「入学式」
大学院第65回「入学式」
大学院第66回「入学式」
大学院第67回「入学式」
大学院第68回「入学式」
大学院第69回「入学式」
大学院第70回「入学式」
大学院第71回「入学式」
大学院第72回「入学式」
大学院第73回「入学式」
大学院第74回「入学式」
大学院第75回「入学式」
大学院第76回「入学式」
大学院第77回「入学式」
大学院第78回「入学式」
大学院第79回「入学式」
大学院第80回「入学式」
大学院第81回「入学式」
大学院第82回「入学式」
大学院第83回「入学式」
大学院第84回「入学式」
大学院第85回「入学式」
大学院第86回「入学式」
大学院第87回「入学式」
大学院第88回「入学式」
大学院第89回「入学式」
大学院第90回「入学式」
大学院第91回「入学式」
大学院第92回「入学式」
大学院第93回「入学式」
大学院第94回「入学式」
大学院第95回「入学式」
大学院第96回「入学式」
大学院第97回「入学式」
大学院第98回「入学式」
大学院第99回「入学式」
大学院第100回「入学式」

実施した主な事業
第63回入園式
創立記念日のお集まり
学園教育充実研究会(幼稚園の部)
平成30年度入園説明会(2回)
附属幼稚園運動会
平成30年度入園面接・1日入園
第63回卒園式
その他の実施内容
春・秋の遠足、保育参観、預り保育、延長保育、夏季保育、七五三、はくとわたしのさくひんてん、クリスマス会、おもちつき、節分のおあつまり、お別れ会、食親子パーティー、発表会、園庭整備、父母の講座、KGCマミークラブ、父母会、避難訓練(2回実施)など
(5)家庭寮(29年度当初在寮生93名)
新入寮生オリエンテーション、リーダー会議、入寮生歓迎会、お茶会、七夕会、いも煮会、クリスマス会、卒業生送別会、避難訓練
(6)大学図書館(高校分館を含む)
・本学図書館高大連携打合せ会
・運営委員会・土曜開館・蔵書点検
(7)保健室
定期健康診断実施(大学・短大生・高校生・園児・教職員)
(8)学園創立者関口育英奨学生の採用
(9)学生・生徒・園児募集
①大学・短大進学相談会
②高等学校訪問 ③中学校訪問
④園児募集(パンフレット)
⑤大学・短大オープンキャンパス
⑥高校入試内容説明会(アドミッション・ポリシー)
*その他、学生・生徒・園児募集のための学校案内(大学・短大、高校、幼稚園)の作成と、ホームページの更新
(10)部活動及び応募等の活躍状況
○第63回福島県高等学校体育大会 バレーボール 第1位
○平成29年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)バレーボール競技大会出場
○第70回全日本バレーボール高等学校選手権大会春の高校バレー全国大会 決勝トーナメント2回戦進出
○第63回福島県高等学校体育大会 新体操 団体1位
○平成29年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)新体操 団体出場
○第63回福島県高等学校体育大会(インターハイ)新体操 団体出場
○第70回福島県総合体育大会 少年女子・ハンドボール 第1位
○第55回福島県高等学校

新人ハンドボール選手権大会第1位
○第70回福島県総合体育大会 卓球競技 少年女子団体 第2位
○平成29年度全日本卓球選手権大会 ジニア女子シングルス出場
○第21回マーチング&パトロールコンテスト 東北大会 高校・一般の部 金賞
○第17回マーチングステージ全国大会 優秀賞
○第34回福島県音楽アンサンブルコンテスト 高校の部 金賞
○第36回福島県高等学校総合文化祭 自然科学部門 奨励賞 科学部
○第33回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール全国大会 第5位
○平成29年度第71回福島県総合美術展覧会 洋画の部 福島県美術奨励賞 青少年奨励賞
○平成29年度食肉総業創作発表会 福島県大会 最優秀賞
○第31回きのこ料理コンクール全国大会 日本特用林産振興会長賞・日本椎茸農業協同組合連合会長賞
(11)安全管理
①防災管理委員会による災害時を想定した創学館3階からの緩降機操作訓練を実施
②安全防災訓練にて身の安全確保並びに避難訓練を実施
(12)施設・設備関係
施設・設備については、安全性(災害対策等)とアメニティ(快適な空間)に配慮した教育研究環境の整備を優先順位により行った。
(13)環境関係
環境委員会とNLS部が、福島県環境創造センター及びJAEA福島環境安全センターと連携により「放射線除染における環境再生(4年継続)」をテーマとして「もみじ」で発表 他
(14)その他
※家族会
・家族会役員・常任委員合同委員会
・家族会総会
・家族会方部別教育懇談会(開催時期は6月下旬から7月下旬)
※芸術鑑賞講座
①「ふくしまの花」野口勝宏写真展
②林家木久扇師匠in郡山女子大学
③「江戸琳派絵画作品展」
④人形劇団ひとみ座「リア王」
※教養講座(第1回~3回)
①「中条家三代 安積開拓の想い」
②「茶道と禅」
③「郡山開成学園が最高の学校だ、ここで頑張らずに頑張る」

平成29年度 決算報告

学校法人郡山開成学園の平成29年度決算について、東邦監査法人の監査を受け、理事会・評議員会で報告、決定されましたので、その概要をご報告いたします。

平成29年度資金収支計算書において、前年度繰越支払資金を加えた資金収入合計は、3,774,273,300円となり、予算より78,400千円上回りました。これは、主として、学生生徒等納付金収入、受取利息・配当金収入では見込みを下回りましたが、雑収入、前受金収入等で見込みを上回ったためです。

資金支出は、資金運用支出、人件費支出等で見込みを上回りましたが、教育研究費支出等で見込みを下回ったため、2,808,961千円となりました。その結果、翌年度繰越支払資金は965,311,753円となり、予算より13,975,017円減となりました。

平成29年度事業活動収支計算書において、事業活動収入合計より事業活動支出合計が大きいため、基本金組入

前当年度収支差額は、△376,105千円となり、基本金組入額合計△81,572千円を加えた当年度収支差額は△457,678千円となりました。

従って、当年度収支差額は△457,678千円に、前年度繰越収支差額△7,651,181千円を加えた翌年度繰越収支差額は、△8,108,859千円となりました。

一方、貸借対照表では、資産に関しては、将来に備え、教育、研究、施設等を充実させるため、資金を計画的に積立て、安全で有利な資産運用に努めております。

また、負債に関しては、退職給与引当金の計上、及び次年度授業料等前受金、期末未払金等以外には、金融機関等からの借入金もなく、健全な財務状況にあります。

平成29年度末の正味資産は、前年度比376,105千円減少し、7,213,973千円となっております。

1 資金収支計算書

資金収支計算書について、その主な内容をご報告いたします。平成29年4月1日から平成30年3月31日まで (単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 学生生徒等納付金収入, 手数料収入, 寄付金収入, etc.

その他の雑収入として東京電力・損害賠償金45,423,604円を計上したためです。

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 人件費支出, 教育研究経費支出, 管理経費支出, etc.

同窓会奨学金特定資産として40,000,000円を繰入支出したためです。

4 貸借対照表

貸借対照表について、その主な内容をご報告いたします。平成30年3月31日現在 (単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 本年度末, 前年度末, 増減. Rows include 固定資産, 有形固定資産, 土地, etc.

Table with 4 columns: 科目, 本年度末, 前年度末, 増減. Rows include 固定負債, 長期未払金, 退職給与引当金, etc.

Table with 4 columns: 科目, 本年度末, 前年度末, 増減. Rows include 基本金, 第1号基本金, 第4号基本金, etc.

Table with 4 columns: 科目, 本年度末, 前年度末, 増減. Row: 減価償却累計額

Table with 4 columns: 科目, 金額, 備考. Rows include 基本財産, 土地, 建物, etc.

3 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書について、その主な内容をご報告いたします。平成29年4月1日から平成30年3月31日まで (単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 学生生徒等納付金, 手数料, 寄付金, etc.

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 受取利息・配当金, その他の教育活動外収入, etc.

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 資産売却差額, その他の特別収入, etc.

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 基本金組入前当年度収支差額, 基本金組入額合計, etc.

2 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書について、その主な内容をご報告いたします。平成29年4月1日から平成30年3月31日まで (単位:円)

Table with 3 columns: 科目, 金額. Rows include 学生生徒等納付金収入, 手数料収入, 特別寄付金収入, etc.

Table with 3 columns: 科目, 金額. Rows include 施設設備補助金収入, 施設整備等活動資金収入計, etc.

Table with 3 columns: 科目, 金額. Rows include 取入差の活動, 支事出の活動, 特別収入計, etc.

Table with 3 columns: 科目, 金額. Rows include 取入差の活動, 支事出の活動, 特別収入計, etc.

監査報告書

平成30年5月18日 学校法人 郡山開成学園 監事 橋本 忠雄 監事 遠藤 武士

私たちは、学校法人郡山開成学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同学園の平成29年度(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)における財産目録及び計算書類(資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び附属明細表)を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか理事からの業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する事実はないことを確認いたしました。